

8. LASSELE [DM- シリーズ] トラブルシュート

トラブルシュートを確認する前に取扱説明書をもう一度ごらんください。
取扱説明書を見て使い方、結線や接続方法に間違いがないか確認してください。

機種	トラブル内容	
DM-2000HJ DM-3000HJ DM-4000HJ	操作部	表示が出ない、操作できない
DM-5000HJ DM-6000HJ		エラー表示発生
DM-2000HJ DM-3000HJ DM-4000HJ DM-5000HJ DM-6000HJ	ファン	ファンが回らない
		ファンから音が出る
DM-2000HJ DM-3000HJ DM-4000HJ DM-5000HJ DM-6000HJ	蓄熱部	蓄熱されない
		蓄熱が足りない

1. 操作部

1-1 表示が出ない、操作できない

原因	確認内容	処置
表示されない 操作できない	100V 電源の差込接続の確認 制御盤 (pcb 基盤) とコードの差込接続の確認	正しい配線接続の確認
	ヒューズが切れている、ショートしている 配線の異様の有無を確認	ヒューズの交換、250V 1A かを確認 コード配線の確認
	制御盤 (pcb 基盤) が破損されていないか 雷サージの可能性は	制御盤を交換する

1-2 エラーの発生

この製品は自動にて自己診断の機能を持っています。

暖房器に異常が発生すればデジタル表示部にエラーコードが表示されます。

この場合、製品は蓄熱及び暖房運転を自動的に停止します。

表示内容

表示	原因	備考
E-01	蓄熱センサーショート	
E-10	蓄熱センサー断線	
E-02	室内温度センサーショート	
E-20	室内温度センサー断線	

1-3 エラー表示の解除

エラーが発生し、状態を正常に戻すには次の操作が必要です。

[追い炊き] 及び [予約運転] ボタンを同時に押せばエラー表示は解除されます。
※エラー表示の解除条件が解決されるまでは、ボタンを押してもエラーは解除されません。

2. ファン

2-1 ファンが回らない

原因	確認内容	処置
ファンが回らない	電源が入っているかを確認する。	正しい配線接続の確認
	室温ダイヤルが [OFF] になっていないかを確認する。	室温ダイヤルを調整する
	制御盤 (pcb 基盤) のファンコードの結線部の確認	正しい配線接続の確認
	設定温度が現在室内温度より低く設定されていないかの確認	設定温度を現在室温温度より高く設定する。
	エラー表示が出ているかを確認	エラー表示を解除する
	室内温度センサーが本体に接触、もしくは近すぎないかの確認	室温センサーの位置を再確認する

※ファンには熱の逆流防止のため、ダンパーが取り付けられています。
誤った取り付けをしますとダンパーが動かなくなることがありますので作業終了後、
ファンを回しダンパーが風圧で動いていることを確認してください。

2-2 ファンから音が出る

原因	確認内容	処置
ファンから音が出る	製品の取り付け状態が水平になっているか	製品を水平に取り付ける
	ファンにホコリや異物が詰まっていないかを確認する	ファンを定期的に清掃する

3. 蓄熱部

3-1 蓄熱されない

原因	確認内容	処置
電源の遮断	100Vのコンセントが抜かれていないか確認する 制御盤 (pcb 基盤) のヒューズは切れていないか 200Vブレーカーが遮断されていないかを確認 蓄熱ダイヤルは [OFF] になっていないか確認	100Vのコンセントを正しく差し込む ヒューズを交換する 200VのブレーカーをONにする 蓄熱ダイヤルを適正な温度にする
ヒーターが発熱しない	制御盤のヒューズが切れていないか 蓄熱ダイヤルは [OFF] になっていないか確認 ヒーターの結線に誤りはないか	ヒューズを交換する 蓄熱量ダイヤルを適正な温度にする ヒーター回路の配線接続のチェックをする
制御盤 (pcb 基盤) の操作エラー	現在時刻が合っているかを確認 エラー表示が出ていないかを確認	現在時刻を正しく設定する エラー表示を解除する

3-2 蓄熱が足りない

原因	確認事項	処置
操作盤 (pcb 基盤)	蓄熱量ダイヤルが絞り込まれていないかを確認 現在時刻が正しいか エラー表示が出ていないか	蓄熱量ダイヤルを適正な温度にする 現在時刻を正しく設定する エラー表示を解除する
ヒーター	ヒーターの結線、配線に誤りはないか ヒーター端子が破損などしている	正しい配線接続のチェック 目視チェックし、異常があれば交換する